

# クライアントレポート

レポート日	対象者	作成者
日付 2024年1月25日	名前 H.O 性別 男・女年齢	名前 池田

## 障がい名・状態

### 脳性麻痺（車椅子）

期間 2022年1月～ 2024年12月

## 初見の状態 希望や目標

股関節外旋制限。足首外反位での硬直。股関節を屈曲しても、膝が外に逃げてお尻が浮く。

反り腰が強く、大腰筋が弱い。肘関節の外線方向へのねじれが強い。

希望 ・靴もオーダーで外反より作っている為、普通の靴を履ける様になりたい。・脚を真っ直ぐにしたい。・歩けるくらい

## 当時のリスク

全体的に体が硬く、関節のねじれが強い為バランスが取れず転倒の恐れがある。

筋力と柔軟性をつけ機能の回復が必要。

将来的な側湾症の悪化 歩行困難。

## 実地内容

パーソナルストレッチによる柔軟性の改善（特に足首、股関節）

下半身を中心とした筋力トレーニング→シースクワット（脚にボールを挟むことで下半身の内旋を防ぐ）

体幹を中心とした全体の機能改善・背中体幹、下半身、特に大腿、ハムストリング、臀部の強化

歩行練習 足底筋の改善とコンディション

## 改善内容・現状の経過報告

・脚をまっすぐに伸ばせるようになった。・身長が伸びた。・仰向けの姿勢は健常者と遜色なくなった。・オーダーの補装靴からスニーカーが扱えるようになった。

・歩行のバランスが改善され、腰が反らなくなった。

### お客様の感想

脚が真っ直ぐになって、スニーカーもはけて嬉しい。6歳の息子とちょっとした運動で遊べる様になった。

家でもできる運動を続けて、体重が増えない様に予防しようと思った。

病院のリハビリより時間をかけてみてくれるのでよかった。

### 今後の課題

全体的な筋力と体幹の強化→スクワットの際、さらに負荷を増やす。内旋動作の改善。

運動中の全身の連動性を高め、弱い筋力や関節を補う。

